

まず名前を知ること。そうすればその植物の半分はわかったことになります。

早春を彩るハナモモ。観賞用の桃の花のことですが、ピンク色の可憐な姿は梅の花と並んで、春の訪れを感じさせてくれる人気の花です。このハナモモの園芸品種を作られた一人が、財団法人相模原市みどりの協会副理事長の岡部誠さん。県立農業大学校や県園芸試験場で30年間観賞樹の試験研究、教育普及に従事、現在、県立相模原公園かながわグリーンハウスの非常勤職員として、植物の管理をされています。



▲県立相模原公園内「かながわグリーンハウス」



岡部 誠さん

一年を通して花とみどりがいっぱいなのかながわグリーンハウス。相模原麻溝公園に隣接する県立相模原公園の大温室です。中には「かながわの四季」と呼ばれる花壇や南国ムードあふれたトロピカルガーデン、グリーンシアターなどがあり、大人も子どもも楽しめる心地よい空間です。岡部さんが来られてから、植物の名れをつけたり、管理法を改善したりして、花の寿命が長く温室内が一段と明るくきれいになったと好評です。

また岡部さんは園芸試験場在職中、スタッフと共にハナモモの園芸品種「照手（てるて）」シリーズの作出に成功。植物特許的な「種苗登録」をされて、増殖販売の権利が神奈川県にあります。ハナモモ作出のエピソードやみどりにへの思いを語っていただきました。

子どもたちに本物のハナモモを見せたくて。それは、中国では何千年も前から聖木として大切にされてきた樹です。日本でも、やはり古くから祭祀の時に使われたり、皇族のお墓にも植えられています。またおとぎ話の桃太郎で子どもたちにもなじみです。

でも、一般的には何年か前まで、モモの花はせいぜいひな祭りの時に飾るくらいでした。こんなに可憐な花なのにも、たいない。子どもたちに本物のモモの花を見せたい、もっと多くの人に親しんでほしいと思えたのがハナモモを作ったきっかけです。

地元のお姫様にあやかっけて名付けました。ハナモモの「照手」シリーズは、在来（のハナモモ）のように枝が広がらず、ほうき（き）型として、竹ぼうきのような形なので、狭い場所でも植えることができる品種。濃いピンク色の照手桃、白い照手白、赤に近い照手紅、淡いパステルピンクの照手姫の4色があって、どれも可憐な花を見てください。「照手」という名は、もちろん※照手姫（てるてひめ）伝説にちなんだものの、当時の園芸試験場が照手姫伝説が生まれた横山にあったので。

また、少し後になって作出した夏に桃の実をつける枝垂れ形の照手水蜜（てるてみづみつ）も人気の品種です。これは仲間との「食べられる桃の実がついたら二度おいしいね」という話がきっかけで作出されました。

かながわグリーンハウスで私ができることは、病害虫を防ぐこと、これによって花や葉の色が鮮やかに生まれ変わります。またハウスのすみずみまで太陽の光が届くように生い茂っていた高いヤシを間引いたことで、空気の流れをよくするため、こまめに窓を開閉するようにしました。光や温度、湿度の管理は植物にとって大切なことです。



ひとくちに園芸品種を作るといっても、研究にはかなりの年数がかかり、それだけに厳しさもあります。例えばハナモモの場合だったら、まず遺伝形質から樹形の優性と劣性を調べ、どのような品種を作りたいかによって、交配を繰り返していくわけです。その過程で思いがけないものが出てきたりすることもある。こうして試行錯誤しながら、何年もかけて作っていくんです。研究は勤務時間外にも及びますから本当に大変でも、こういう品種を作りたいという目標に向かっている夢があります。どんなものが出てくるかという楽しみもあるし、その間はずっとロマンを感じることができる。そしてそれが市場に出回れば、そこに行っても自分達の作ったものが見られるといううれしさもあります。

かながわグリーンハウスで私がまず手付けたのは病害虫を防ぐこと、これによって花や葉の色が鮮やかに生まれ変わります。またハウスのすみずみまで太陽の光が届くように生い茂っていた高いヤシを間引いたことで、空気の流れをよくするため、こまめに窓を開閉するようにしました。光や温度、湿度の管理は植物にとって大切なことです。

かながわグリーンハウス

所在地 ● 県立相模原公園内
入館料 ● 20歳以上(学生を除く) 250円、20歳未満及び学生200円、65歳以上高校生以下—無料
開館時間 ● 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 ● 毎週月曜日(祝日の場合は開館、祝日の翌日は休館)、年末年始(12月28日～1月4日)
お問い合わせ ● かながわグリーンハウス事務所 042-778-6816

※緑の相談所 電話042-778-6819
※照手姫伝説 小栗判官と照手姫の悲恋物語にちなんだ伝説、横山に「照手姫遺跡の碑」が建てられている。

私はみどりを大事にしていくなによりは、まず名前を知ることが第一だと考えています。名前が判ると花や実がよく見えるようになり、植物の変化から環境の変化が判るようになります。名前を知って覚えたら、もう半分その植物のことがわかったことになる。そして観察するが楽しくなってくるんです。

今みどりの協会ではボランティアの樹木の探偵団を結成し、相模原市内の公園の植物を観察しながら、名を付けるという活動をしています。相模原には公園がたくさんあるので、まだまだ先の長い活動になりそうですが、これによってたくさんの方がみどりに関心を持つようになってくれるといいですね。

名前を知り、認識することが大事。

物を管理していくうえでの基本なんです。今はハウスの温度を20℃に設定していますが、花の持ちがずいぶんよくなりました。それにお客様にも評判がいい。室内があまりにも暑いとゆっくり観賞できませんから、



●各フェアとも会場周辺が大変混雑いたしますので、ご来園の際はバスなどの公共交通機関をご利用ください。
●旧アジサイフェアが「アジサイDays」として9日間に期間延長されたため、両公園を往復する専用シャトルバスの運行は廃止となりました。

相模原北公園へのアクセス
JR横浜線 ● JR橋本駅下車→南口バス乗り場から橋35系統(大島経由相模原駅行)・橋37系統(榎戸経由上大島行)・橋57系統(望地キャンパス入口)は上中の原(カミナカノハラ)団地で下車して徒歩約3分/橋36系統(六地蔵経由上大島行)は九沢自治会館前下車すぐ
JR相模線 ● JR南橋本駅下車→徒歩約20分～30分

日本一の規模で咲き誇る相模原麻溝公園のクレマチス。楽しいイベントもたくさん用意しました。ご家族揃ってぜひご来園ください。

クレマチスフェア 5/3土・4日
相模原麻溝公園

相模原北公園と相模原麻溝公園で9日間にわたり同時開催される「アジサイDays」。さまざまなアジサイの表情をごゆっくりお楽しみください。

アジサイ Days 6/7土～15日
相模原北公園・相模原麻溝公園

相模原麻溝公園・県立相模原公園へのアクセス
小田急線 ● 相模大野駅下車→北口(伊勢丹側)3番バス乗り場から女子美術大学行→総合体育館前または終点下車(所要時間約20分)
※午前10時までは伊勢丹側の市営駐車場1階バス乗り場より乗車
JR横浜線 ● JR相模原駅下車→相武台前駅行→総合体育館前下車(所要時間約15分)



●平成15年4月29日発行
●編集・発行所 / 財団法人相模原市みどりの協会
●発行所 / 〒228-0228 相模原市麻溝台2-317 番地の1 市立相模原麻溝公園内
財団法人相模原市みどりの協会 ☎042(777)2860
●URL: http://www.sagamihara-green.or.jp/index.html/
●E-mail: info@sagamihara-green.or.jp

財団法人相模原市みどりの協会 平成15年度事業概要



① 緑化意識の普及啓発に関する事業

公益事業の部

見て、触れて、理解してもらうための事業を積極的に行っています。



北公園・アジサイ

■「市の花アジサイ普及事業」
長年にわたり市の花として親しまれている「アジサイ」の普及を目的に、障害者地域作業所で育成された挿し木苗を、相模原麻溝公園及び相模原北公園で開催の「アジサイ」で配布します。

■「クレマチス普及事業」
相模原麻溝公園に世界的にも有数な規模で植栽されている「クレマチス」を紹介し、公園の花として市民に親しんでいただくため、講習会等を通じてクレマチスの普及を進めます。

■「生垣見本園」事業
身近な緑としての「生垣」を普及するため、相模原市緑化センター内にモデル生垣(生垣24種類・竹垣3種類)を設置し、生垣の作り方、手入れ方法などを紹介しています。詳しくは右頁の「生垣見本園」の欄をご覧ください
相模原市緑化センター 相模原市田名10507
電話042(778)3288

■「花と植木に関する園芸相談」

花や植木への理解を深め、園芸の楽しさを知っていただくため、地域に密着した園芸教室などを協会と公民館の共催事業として実施します。詳細は各公民館などでお知らせします。

■「みどりの少年団」の育成

子どもたちが自然とふれあいがから仲間づくりをすすめることを目的に結成された「みどりの少年団」に対し、緑に関する学習活動、レクリエーション活動、ボランティア活動などを支援し、その育成を図ります。

■「花のふれあいサービス」

老人ホームなどの福祉施設に、年2回メッセージを添えた季節の花をお届けし、花とのふれあいを楽しんでいます。

② 都市緑化の推進に関する事業

公益事業の部

市民のみなさんの力により、緑豊かな街づくり運動が進められています。



横浜水道みち・フラワーロード事業

■「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」
都市緑化や、市民の緑化活動の推進を図るため、自治会、子ども会、幼稚園等を対象に花の苗、球根、苗木、樹木等を配布し花のまちづくりを進める。また、緑地協定締結地区において、シンボルツリーなどの苗木を植樹するための助成を行います。詳しくは右頁の「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」の欄をご覧ください。

■「生垣設置助成」事業
身近な緑である「生垣」を新規に設置する場合に奨励金を交付して都市緑化の推進を図ります。詳しくは右頁の「生垣設置助成」の欄をご覧ください。

■「フラワーロード事業」
街の中に「花の道」を作ることを中心に、相模原市内を

縦断する「横浜水道みち」にコスモス等の花を咲かせる市民の活動を支援します。

■「みどりのバンク」事業

樹木や草花、種、苗などを譲りたい方、譲り受けたい方の相互の情報を提供することにより、花や緑のネットワークづくりを図ります。

相模原麻溝公園、相模大野中央公園及び相模原北公園の各管理事務所に「花とみどりのインフォメーション・ボード」を設置し、みどりのバンク情報コーナーを設けています。

「みどり」は私たちの暮らしに潤いを与えてくれるばかりではなく、私たちの将来の環境にとって、欠くことのできない大切なパートナーとなりつつあります。緑を守り、次世代につなげていくことは、この時代に生きる私たちの役目ではないでしょうか

財団法人相模原市みどりの協会では、みどりある豊かな街づくりを推進するため、様々な事業を展開しています。

③ 機関紙その他印刷物の刊行

公益事業の部

緑に関する知識や情報を広めるために、さまざまな印刷物を発行しています。



平成14年度発行・園芸豆図鑑「庭木」

■協会紙「グリーン」の発行
協会が実施する事業の紹介や「みどり」に関する情報を機関紙を通じて発信します。

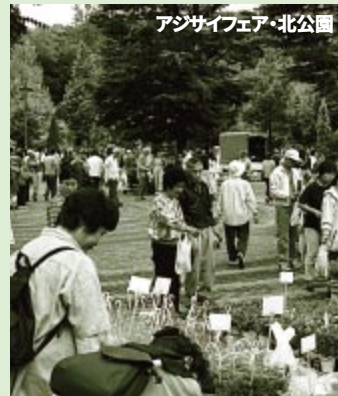
■園芸豆図鑑の発行
園芸を通して花や緑への関心を高めてもらい、また園芸に親しむ際の参考にしてもらえるように、市販のものとは一味違う内容で豆図鑑を発行します。

■ホームページの公開
ホームページを通じて公園の開花状況やイベント情報、協会の出版物、花とみどりのインフォメーションコーナーなどの情報を発信します。

④ 講習会、講演会、展示会、その他催し物等の開催

公益事業の部

多くの方に参加していただける、緑に親しむ催しがいっぱいです。



アジサイフェア・北公園

■講習会等の開催
「みどり」に関する各種講習会を開催します。詳細は広報さがみはろなどでお知らせします。

■県共催園芸教室の開催
県立相模原公園「緑の相談所」との共催事業として、園芸に関する教室を開催します。右頁の年間予定表をご覧ください。

■「公園フェア」などの実施や参加
「クレマチスフェア」「アジサイ」「オータムフェア」などを実施するとともに、市内で開催される各種イベントに参加し、協会のPR及び緑化意識の高揚を図ります。

⑤ 市街地の緑地及び緑地保全地区の保全に関する事業

公益事業の部

市内に残る大切な緑を守っていくために清掃活動などを行っています。



■緑のボランティア育成・支援
あじさいボランティア、森林ボランティアなどの育成を図るとともに、市内で活動する「みどり」に関するボランティア団体への支援を図ります。

⑥ 公園施設等の受託事業

公益事業の部

たくさんの方により楽しく利用していただける公園管理に努めています。



相模原北公園

■公園施設等受託事業
相模原市から公園緑地等の管理を受託し、市民のニーズに応え、公園緑地等の利用サービスの向上を図るなど適正な管理を行います。

●受託公園等
相模原麻溝公園 道保川公園
相模原北公園 相模大野中央公園
相模原麻溝公園スポーツ広場

売店・自動販売機等の経営

収益事業の部

相模原麻溝公園などに売店・自動販売機を設置し、公園を利用する方の利便を図ります。

新しく「生垣」をつくる場合、助成をします。生垣設置助成

「生垣」で環境に優しく潤いのある街づくり

生垣が作り出す「みどり」の壁は、ブロック塀にはない、潤いのある空間をつくるだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。

みどりの協会では、新しく生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会にぜひ生垣をつくってみませんか。

- 対象
次のすべてに該当すること。
①市内の戸建住宅(店舗併用住宅も可)又は共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。
②その生垣が幅4m以上の公道に接していること。
③生垣の長さが3m以上であること。
④市民税を完納していること。
- 植栽の基準
樹木の種類は、生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するもの。樹木の高さは90cm以上、本数は、1mあたり3本以上とする。
- 奨励金額
1mあたり5,000円で、10万円を限度額とします。ただし、共同住宅についてはお問い合わせください。
- 手続き
みどりの協会、市役所みどり対策課などにある申請書に記入してみどりの協会事務局へ(案内書もあります)。
- 添付書類等
①植栽予定地の写真
②市民税の納税証明書、領収書など
- 区分 申請日 税の対象年度
個人 4/1~9/30 前年度
10/1~3/31 今年度
法人 全期間 直近の年度
- 〈ご注意〉
※新たに生垣をつくる人が対象で、つくり替えは対象になりません。
※奨励金を受けるには、事前に申請をして交付決定を受けなければなりません。
※生垣設置後は良好に管理しましょう。
(お問い合わせ) 相模原市みどりの協会
TEL.042-777-2860(相模原麻溝公園内)



「生垣見本園」

相模原市緑化センター内



みどりの協会では、相模原市緑化センター内に24種類のモデル生垣と3種類の竹垣を設置した「生垣見本園」を開設しています。生垣作りの参考にぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。(入場無料)

相模原北公園花のボランティア募集

市の花「アジサイ」が和・洋種あわせて200種10,000株も植栽され、ほかに四季折々の花や野草・樹木などが年間を通じて楽しむことができる相模原北公園。この公園で花木などの管理の手伝いをしていただくボランティアを募集します。
様々な植物の手入れ方法などの基礎知識を学びながら、相模原北公園と一緒に育ててみませんか。



- 会 場 相模原北公園
- 期 間 年間を通して(主に春と秋)
- 内 容 公園内に植栽されている植物の管理の手伝い(除草・剪定・花殻取りなど)

- 定 員 若干名(申し込み多数の場合は抽選いたします。)
- 申し込み 往復はがきにご住所、お名前、電話番号を明記の上、5月末日(必着)までに、みどりの協会「北公園ボランティア係」まで、〒228-0828相模原市麻溝台2317-1

- そ の 他 申込者(抽選の場合は当選者)には説明会に御出席いただき、随時登録していただきます。なお、説明会の日程は後日連絡いたします。

公園の花



東フロント



花木園

バラ 相模原北公園

バラ(薔薇)
花期 ●5~6月、9~10月

地球上における野バラの生育は紀元前二千年以前よりあったといわれ、古くから各地でバラの持つ花色の美しさや香りなどが愛され、利用されてきました。

日本においても同様で、日本産の野バラが「万葉集」や「古今集」などに、ウマラ、ソウビの呼び方で用いられています。

現在、主に栽培されている系統は、枝が長く3mも5mも伸び花を咲かせる「つるバラ系」や逆に花が2~5cmほどの「ミニアチュア系」など4種類です。栽培のポイントとしては、日当たりと風通し、水はけの良し所に植えることです。
日当たりが悪いと花つきが悪くなります。

わたしの街にあふれる緑を

花のまちづくり・みどりいっぱい運動



財団法人相模原市みどりの協会では、自治会、老人クラブ、子ども会、幼稚園、保育園などの団体、グループが地域の公園、自治会集合会場周辺、緑道などに植える場合に限り、球根や花の苗などを配付し、花のまちづくりを進めています。みなさんの手で身近な花やみどりを増やしていきましょう。
※個人的な園芸は対象になりません。
※詳しくはみどりの協会まで
TEL.042-777-2860

あじさいボランティア講座

市の花あじさいをとおして「みどりのまちづくり」に参加していただける方を募集します。手入れ方法などの基礎知識を学びながら、公園のあじさいと一緒に育ててみませんか。

受講者募集



講座内容と日時	
あじさいの基礎知識	6月1日(日) 午前10時から正午まで
挿し木の仕方(実習)	6月29日(日) 午前10時から正午まで
鉢上げの仕方(実習)	7月6日(日) 午前10時から正午まで
剪定の仕方(実習)	午前10時から正午まで

- 会 場 相模原麻溝公園
- 講 師 日本アジサイ協会 理事 秋田 宏氏
- 参加費 無料(ハサミ、カッターは各自持参)
- 定 員 20人/抽選により決定
- 申込み 往復はがきに住所・氏名、電話番号を明記の上、5月15日(木)までに(必着)。(財)相模原市みどりの協会「あじさいボランティア講座係」
〒228-0828相模原市麻溝台2317-1

意外と難問!?でも景品付き 花の知識クイズ



- ◆次のうち正しいと思うものの番号を選んで下さい。
- ①種類を問わず全てのアジサイの花色が鮮やかな青色になる。
- ②種類を問わず全てのアジサイの花色が鮮やかな赤色になる。
- ③赤系の品種の花色が鮮やかな青色に変わる。
- ④青系の品種の花色が鮮やかな青色になる。
- ⑤青系の品種の花色が濁った青色になる。

正解者の中から抽選で10名様に素敵な記念品を贈呈しますので、5月末日までに官製はがきに解答の番号と住所・氏名・電話を記入して、下記のとおり送ってください。
※正解当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。
※クイズの正解はアジサイDays(6月7日~15日)の会場にて発表いたします。
〒228-0828 相模原市麻溝台2317-1 相模原市麻溝公園内(財)相模原市みどりの協会 花の知識クイズ係 行